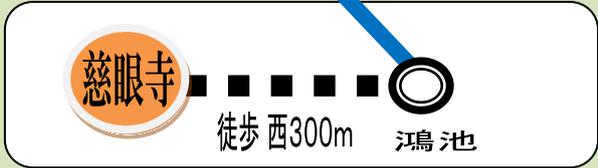


交通 JR 伊丹駅前・阪急伊丹駅前 2 番乗り場より 2 系統桜ヶ丘經由荒牧バラ公園行き、または 4 番乗り場より 5 系統裁判所前經由 JR 中山寺駅前行きにて鴻池下車、西へ約 300 メートル



倭園山 慈眼寺 由来

寺伝によれば室町時代の武将 赤松則村 (円心(一二七七〜一三五〇)) の祈禱所であったと伝えられています。昔は仙園山と号し修験道の時代もありましたが、後に真言宗の寺となり、更にその後に曹洞宗の寺となりました。正保三年(一六四六)二月、大広寺から僧の嫩桂(どんけい) 永昌が住職となって入り寺の形が整いました。撰津名所図会の中に永昌和尚によって慈眼寺と改められた事が記され(鎮西八幡宮神像束帯弓箭を携へ馬上の尊体を案す)と書かれています。本尊は木造釈迦如来坐像で鎌倉時代の慶派仏師の作と伝えられています。鎌倉時代初期の建久六年(一一九五)に造られたもので、平成二年に国の重要文化財に指定されました。

重要文化財

木造釈迦如来坐像

平成二年六月二十九日国指定



所有者 慈眼寺
材質 檜
構造 割矧造
寸法 像高 五一・八cm